

表 3. 地域ブロック別の分析対象者数と学校数

地域ブロック	対象者数 (学校数)
北海道	291 (2校)
東北	211 (2校)
関東 I	624 (5校)
関東 II	222 (1校)
北陸	162 (2校)
東海	321 (2校)
近畿 I	677 (5校)
近畿 II	58 (1校)
中国	572 (3校)
四国	317 (2校)
北九州	88 (1校)
南九州	105 (1校)
全国	3,648 (27校)

(思春期やせ症の頻度)

思春期やせ症の発生頻度の集計結果を表 4 に示した。

高校 3 年時における思春期やせ症の発生頻度は全国平均で 1.26% (46 例) であった。内訳は、北海道で 7 例、東北で 4 例、関東 I で 5 名、関東 II で 1 例、北陸で 3 名、東海で 7 名、近畿 I で 8 名、中国で 7 名、四国で 2 名、北九州で 1 名、南九州で 1 名であった。今回の調査では、近畿 II において思春期やせ症が疑われる生徒は確認されなかった。これらの結果は調査対象者数が一部の地域ブロックでは 100 名以下と少ないため、出現頻度の期待値が 1%前後であることを想定すると、確定的な結果とすることは難しい。

表 4. 地域ブロック別の思春期やせ症発生頻度

地域ブロック	中学 1 年時から高校 3 年時
北海道	2.41% (7/291)
東北	1.9% (4/211)
関東 I	0.8% (5/624)

関東 II	0.45% (1/222)
北陸	1.85% (3/162)
東海	2.18% (7/321)
近畿 I	1.18% (8/677)
近畿 II	0% (0/58)
中国	1.22% (7/572)
四国	0.63% (2/317)
北九州	1.14% (1/88)
南九州	0.95% (1/105)
全国	1.26% (46/3,648)

(不健康やせの頻度)

各学校の中学 3 年と高校 3 年における不健康やせの頻度を表 5 に示した。中学 3 年時点での頻度は 12.3~29.3% (全体: 19.1%)、高校 3 年時点での頻度は 10.4~21.5% (全体: 19.4%) であった。地域別に見た場合、最も発生頻度が高かったのは中学 3 年時では近畿 II、高校 3 年時では東海であった。最も発生頻度が低かったのは中学 3 年時では四国、高校 3 年時では関東 II だった。

表 5. 地域ブロック別不健康やせ発生頻度 (中学 3 年時、高校 3 年時)

地域ブロック	中学 3 年時	高校 3 年時
北海道	21.6% (63/291)	19.9% (58/291)
東北	23.7% (50/211)	21.3% (45/211)
関東 I	18.9% (118/624)	21.5% (134/624)
関東 II	12.6% (28/222)	10.4% (23/222)
北陸	19.1% (31/162)	19.8% (32/162)
東海	21.2% (68/321)	21.5% (69/321)

近畿 I	18.8% (127/677)	20.7% (140/677)
近畿 II	29.3% (17/58)	20.7% (12/58)
中国	22.7% (130/572)	20.8% (119/572)
四国	12.3% (39/317)	13.2% (42/317)
北九州	14.8% (13/88)	15.9% (14/88)
南九州	13.3% (14/105)	19.0% (20/105)
全国	19.1% (698/3,648)	19.4% (708/3,648)

(これまでの全国調査の経年変化)

思春期やせ症及び不健康やせについて、これまでの調査（平成 14 年度、平成 17 年度、平成 21 年度）の全国調査の結果を図 1 にまとめた。不健康やせについては、平成 14 年から平成 21 年度にかけてその割合が増加しているが、今回の調査では減少していた。思春期やせ症が疑われるケースについては、平成 14 年度を除き、1%前後であり、大きな変動があるとはいえない。前回調査結果（平成 21 年度）との変動について、Fisher's exact test により統計学的に解析した結果、高校 3 年時の不健康やせにおいて有意傾向がみられ ( $p=0.056$ )、前回の 21.5% (427/1,985) から減少している傾向にあった。

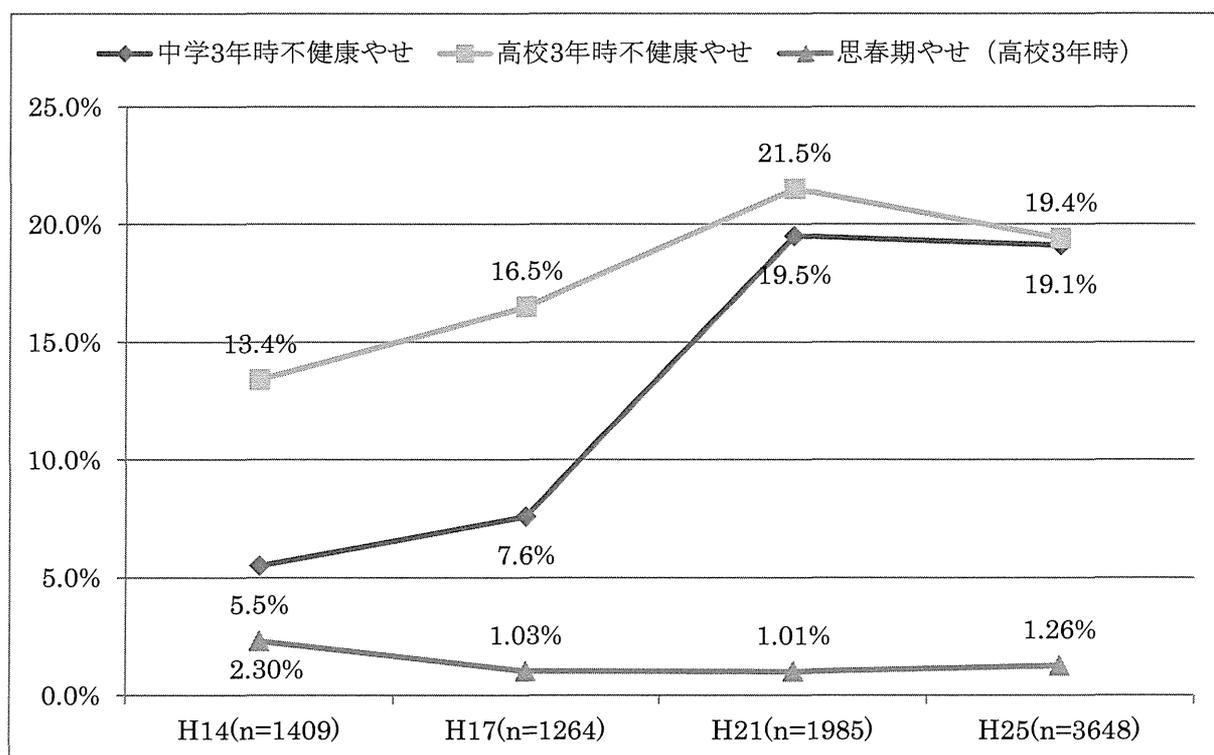


図 1. これまでの全国調査における思春期やせ及び不健康やせの発生頻度

## D. 考察

思春期やせ症及び不健康やせの発生頻度について、全国を12ブロックに分け、少なくとも1校以上の協力を得て、3,821名の小学1年時から高校3年時までの身長体重データを収集した。欠損値等が含まれていた173名を除く3,648名のデータについて成長曲線及びパーセンタイル値、肥満度を算出し、前回調査（平成21年度）時と同様の判定基準を用いて、思春期やせ症及び不健康やせの発生頻度を求めた。その結果、不健康やせは、中学3年時において19.1%（696/3,648）、高校3年時では19.4%（708/3,648）となった。思春期やせ症に関しては1.26%（46/3,648）であった。

前回の平成21年度調査と比較して、それぞれの割合は減少していた。統計学的検定の結果、高校3年時の不健康やせにおいて有意傾向がみられ、前回の21.5%（427/1,985）から減少している傾向にあった。中学3年時の不健康やせ、高校3年時の思春期やせ症については統計学的な有意差は認められなかった。

思春期やせ症及び不健康やせの発生頻度に関する地域差は、一部の地域ブロックで調査対象者数が100名以下と少なく、特に思春期やせ症の発生頻度については、その期待値が1%前後であると考え、確定的な結果とはいえず、本研究の限界であると考えられる。

### 【参考文献】

- 1) 渡辺久子（2002）女子中高生における思春期やせ症、不健康やせの全国頻度調査：学校検診身体計測結果を用いた成長曲線による思春期やせ症早期発見の試み、平成14年度厚生科学研究補助金（子ども家庭総合研究事業）思春期やせ症（神経性食欲不振症）の実態把握及び対策に関する研究報告書：633-640
- 2) 田中徹哉、南里清一郎（2006）思春期やせ症と不健康やせの実態把握及び対策に関する研究 思春期やせ症と「不健康やせ」の第二次全国頻度調査、平成17年度厚生労働科学研究補助金（子ども家庭総合研究事業）思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握及び対策に関する研究分担研究報告書：38-41
- 3) 中野貴博、樋口善之、原田直樹、森慶恵、阿部真理子、豊田菜穂子、福島由美子、土井智子、三並めぐる、香田由美、内田育美、楢松真紀子、渡辺多恵子、北村喜一郎、鈴木茜、磯田宏子、三國和美、丸岡里香、笠井直美、松浦賢長、山縣然太郎（2010）思春期やせ症の発生頻度に関する研究、平成21年度厚生労働科学研究補助金（子ども家庭総合研究事業）健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用に関する研究 総括・分担研究報告書：227-233

## 性行動による性感染症等の身体的影響等について知識のある高校生の割合に関する研究

研究協力者 樋口 善之（福岡教育大学教育学部）

分担研究者 松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）

研究代表者 山縣 然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

＜思春期の保健対策の強化と健康教育の推進＞における指標「性行動による性感染症等の身体的影響等について知識のある高校生の割合」を把握することを目的とした調査を行なった。調査対象は、前回調査（平成 19 年度）において、層別クラスター抽出法により抽出された全国の 100 の高等学校に再度同様の調査を依頼した。その結果、83 校 2,827 名から回答を得た。調査データを集計した結果、当該指標としての有効性が確認されている 2 つの項目の値は次の通りとなった。「C3. 性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思う」男子：65.0%、女性：72.3%。「C4. 自分の身体を大切にしている」男子：67.5%、女子：76.1%。前回調査から比較すると男女ともにどちらの項目も向上していた。特に、女子における「性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思う」は統計学的に有意であった。

### A. 研究目的

本研究は、健やか親子 21 の＜思春期の保健対策の強化と健康教育の推進＞における指標の一つである「性行動による性感染症等の身体的影響等について知識のある高校生の割合」について把握することを目的とした。

### B. 研究方法

（調査対象）

平成 18 年度に実施した当該指標を把握するための全国調査時に層別クラスター抽出法によって選定された 100 校の高等学校を調査対象とした。なお、この 100 校は少なくとも

1 県 1 校となるように、18 歳人口に比例した抽出学校数を算出し、各都道府県に割り当てている。各都道府県における抽出学校数は以下の通りである。

1 校：秋田県、山形県、山梨県、富山県、福井県、和歌山県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、高知県、佐賀県、大分県、宮崎県。

2 校：青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、石川県、長野県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、奈良県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県。

3 校：北海道、静岡県、兵庫県、福岡県、埼

玉県。

4校：千葉県、愛知県。

5校：神奈川県、大阪府。

6校：東京都。

抽出された調査対象校における設置主体別の内訳は、公立学校 80 校（特別支援学校 3 校を含む）、私立学校 20 校となった。

#### （調査方法）

前述の各校に調査票を郵送し、各学校単位において、無記名の自記式質問紙調査を実施した。調査票の回収にあたっては、テープによる封が可能な回収用の封筒を調査票とあわせて配布し、調査票記入後、記入者自身が封をするよう依頼した。調査票は、学校単位で回収した。なお、調査への参加にあたっては、調査票表紙に、調査の目的、調査責任者の連絡先を記し、1) 得られた情報により、個人を特定することはないこと、2) 調査委への参加は自由であり、不参加、未記入による不利益は生じないこと、を明記した。この調査は、2013 年 5 月～7 月に実施された。

#### （分析対象）

上記の全国 100 校の高等学校・特別支援学校に対して調査票を配布したところ、83 校 2,827 名から回答を得た（男子 1,323 名、女子 1,504 名）。

### C. 結果

この報告では、＜思春期の保健対策の強化と健康教育の推進＞における新たな指標「性行動による性感染症等の身体的影響等につい

て知識のある高校生の割合」に関する 2 項目「性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思いますか」および「自分の身体を大切にしていますか」の結果についてまとめる。

「C3. 性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思いますか」という設問に対して、“可能性はあると思うが、特殊な場合だと思う”と回答した割合は 31.1% (867/2,787)、“すべての場合ではないが、傷つける可能性は低くないと思う”と回答した割合は、59.5% (1,659/2,787)、“かなりの確率で傷つけてしまうことがあると思う”と回答した割合は、9.4% (261/2,878) であった（表 1）。分析サンプルにおいて、40 名（1.4%）は無回答であった。この設問と性別とのクロス集計表を表 2 に示した。このクロス集計表における  $\chi^2$  検定の結果は、0.1%水準で有意であった。男性において“可能性はあるが、特殊な場合だと思う”と回答した割合は、欠損値を分母に含めず、35.0% (454/1,296)、女性では 27.7% (412/1,490) であった。

「C4. 自分の身体を大切にしていますか」という設問に対して、“いつも大切にしている”と回答した割合は、72.1% (2,020 /2,802)、“傷つけてしまうことがたまにある”と回答した割合は、24.2% (679/2,802)、“よく傷つけてしまう”と回答した割合は、3.7% (103/2,802) であった（表 3）。分析サンプルにおいて、25 名（0.9%）は無回答であった。この設問と性別とのクロス集計表を表 4 に示した。このクロス集計表における  $\chi^2$  検定の結果は、0.1%水準で有意であった。男性に

において「いつも大切にしている」と回答した割合は67.5% (879/1,303)、女性では76.1% (1,140/1,498)であった。

#### (前回調査との比較)

前回調査(平成19年)との比較を男女別に図1及び図2にまとめた。男女ともにどちらの項目も向上していた。前回調査結果との変動について、Fisher's exact testにより統計学的に解析した結果、女子における「C3. 性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思う」は有意であり( $p=0.025$ )、前回の調査結果と比較して、その割合は増加していた。

#### D. まとめ

本研究において、性行動による性感染症等の身体的影響等について知識のある高校生の割合を把握することを目的とした全国調査を行なった。その結果、指標としての有効性が確認されている2つの項目:「C3. 性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思いますか」「C4. 自分の身体を大切にしていますか」におけるベースライン値は以下のようにまとめられた。

「C3. 性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思う」男子:65.0%、女性:72.3%

「C4. 自分の身体を大切にしている」男子:67.5%、女子:76.1%

前回調査から比較すると男女ともにどちらの項目も向上していた。特に、女子における「性行動は相手の身体や心を傷つける可能性

があると思う」は統計学的に有意であり( $p=0.025$ )、前回の調査結果と比較して、その割合は増加していた。

#### 【参考文献】

- 1) 樋口善之、仁木雪子、笠井直美、丸岡里香、加藤千恵子、小林八重子、佛圓和子、米本朱實、濱龍彦、米光真由美、内田美智子、渡辺多恵子、鈴木茜、山田七重、松浦賢長、山縣然太郎(2008)「健やか親子21」<思春期の保健対策の強化と健康教育の推進>における指標の見直しに関する研究、平成19年度厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用および思春期やせ症防止のための学校保健との連携システム構築に関する研究に関する研究 総括・分担研究報告書:66-85
- 2) 樋口善之、松浦賢長、山縣然太郎(2008)「健やか親子21」<思春期の保健対策の強化と健康教育の推進>における新たな指標のベースライン値に関する研究、平成19年度厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用および思春期やせ症防止のための学校保健との連携システム構築に関する研究に関する研究 総括・分担研究報告書:86-97

## F. 研究発表

### F-1. 論文発表

なし

### F-2. 学会発表

なし

## G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表 1. 「C3. 性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思いますか」における度数分布

選択肢		度数	%	有効%
有効	可能性はあると思うが、特殊な場合だと思う	867	30.7	31.1
	全ての場ではないが、傷つける可能性は低くないと思う	1659	58.7	59.5
	かなりの確率で傷つけてしまうと思う	261	9.2	9.4
	有効回答 合計	2787	98.6	100
無回答		40	1.4	
全体の合計		2827	100	

表 2. C3 と性別とのクロス集計表

選択肢		性別		合計	
		男性	女性	はい	
c3	可能性はあると思うが、特殊な場合だと思う	度数 (列の%)	454 (35.0)	412 (27.7)	866 (31.1)
	全ての場ではないが、傷つける可能性は低くないと思う	度数 (列の%)	693 (53.5)	966 (64.8)	1659 (59.5)
	かなりの確率で傷つけてしまうと思う	度数 (列の%)	149 (11.5)	112 (7.5)	261 (9.4)
合計	度数 (列の%)	1296 (100)	1490 (100)	2786 (100)	

表 3. 「C4. 自分の身体を大切にしていますか」における度数分布

選択肢		度数	%	有効%
有効	いつも大切にしている	2020	71.5	72.1
	傷つけてしまうことがたまにある	679	24.0	24.2
	よく傷つけてしまう	103	3.6	3.7
	有効回答 合計	2802	99.1	100
無回答		25	0.9	
全体の合計		2827	100	

表 4. C4 と性別とのクロス集計表

選択肢		性別		合計	
		男性	女性	はい	
C4	いつも大切にしている	度数 (列の%)	879 (67.5)	1140 (76.1)	2019 (72.1)
	傷つけてしまうことがたまにある	度数 (列の%)	369 (28.3)	310 (20.7)	679 (24.2)
	よく傷つけてしまう	度数 (列の%)	55 (4.2)	48 (3.2)	103 (3.7)
合計		度数 (列の%)	1303 (100)	1498 (100)	2796 (100)

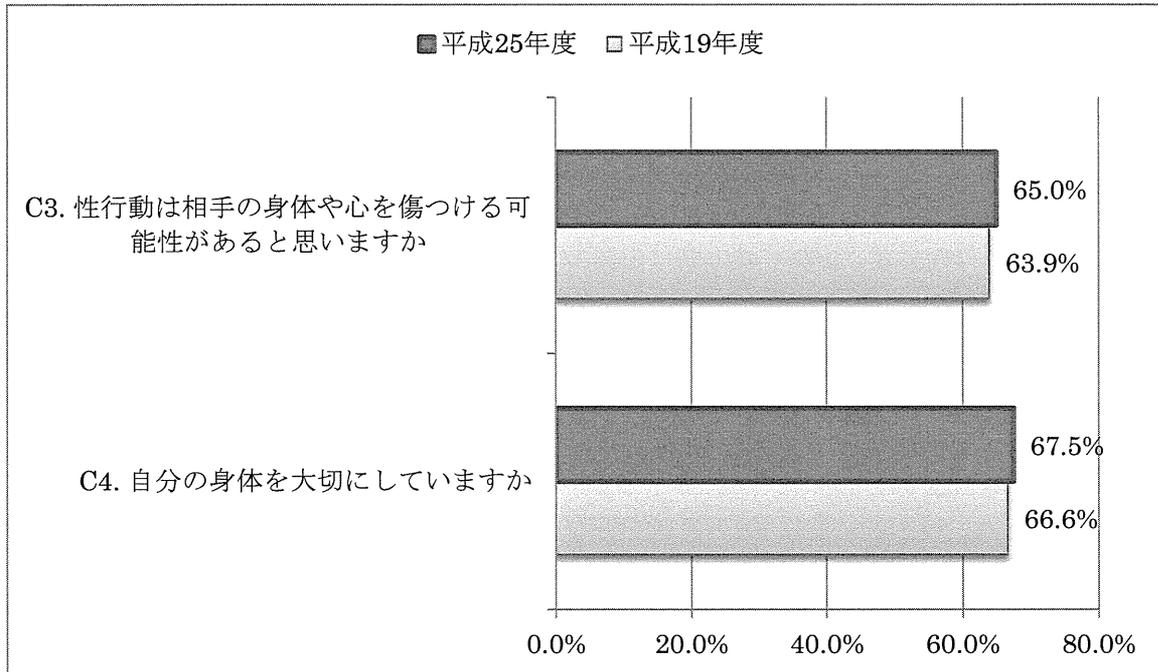


図 1. 前回調査（平成 19 年度）との比較（男子）

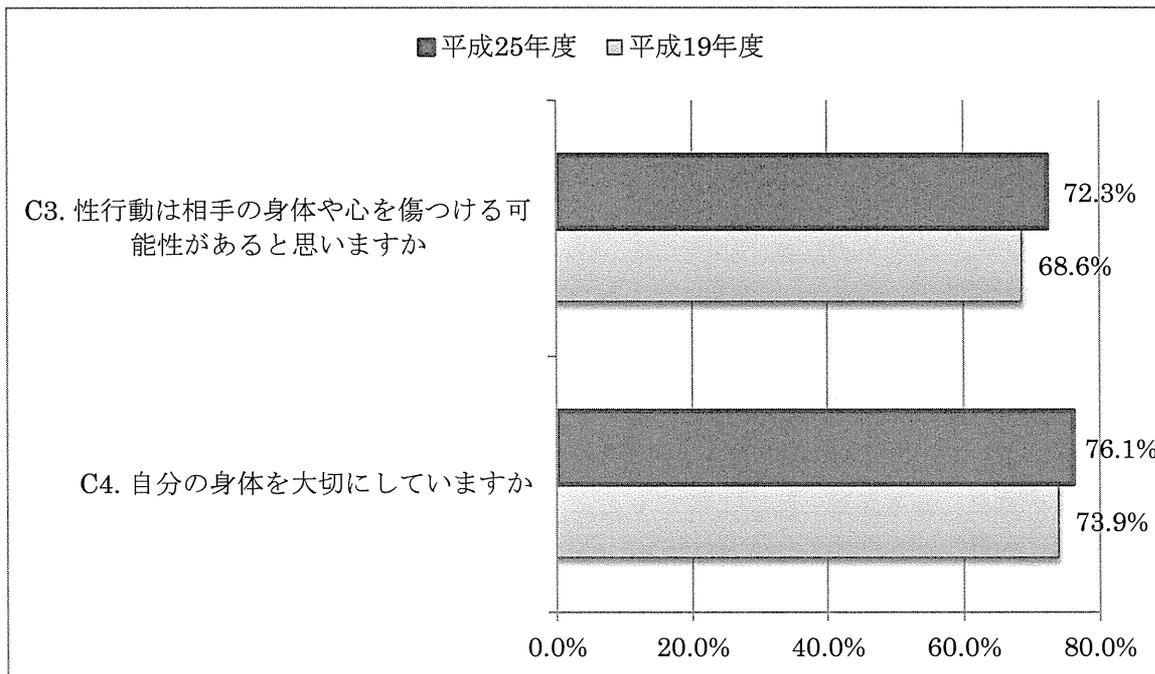


図 2. 前回調査（平成 19 年度）との比較（女子）

## 2013年度における健やか親子21公式ホームページの展開

研究協力者 葉袋 淳子（岐阜医療科学大学保健科学部）  
山田 七重（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）  
吉岡 名保恵（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）  
研究代表者 山縣 然太朗（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

本研究の一環として、2001年度より構築・運営してきた健やか親子21公式ホームページは、13年間のあゆみとして84万件を超えるアクセス件数を得ている。このホームページの主な展開と、搭載している「取り組みのデータベース」「母子保健・医療情報データベースの運営状況」について2013年度の報告することを目的とした。

本ホームページは、基本的に週に1回の更新を行ない、その主な内容とアクセス件数を中心に詳細を報告する。更新に伴い、各班員、また健やか親子21メーリングリスト会員に通知文を送り、情報の共有、及び情報交換を行なっている。各データベースは、WEB公開された2001年4月以降、現在まで安定したアクセス件数を得ている。取り組みのデータベースは、全国の事業を参照しながら事業計画を立案するためのツールとして活用されている。また、母子保健・医療情報データベースは、専門職における利用度の高いツールとして好評を得ている。

### A. 研究の目的

本研究班では、「健やか親子21」の推進を目指した、母子保健サービス実施の情報収集と供給体制の整備のために、健やか親子21公式ホームページを構築し、基本的に毎週1回運営している。そこで、本ホームページで主に搭載している「取り組みのデータベース」や「母子保健・医療情報データベース」などの、これらの詳細について報告することを目的とする。

### B. 研究の方法

「健やか親子21公式ホームページ」の主な展開内容と、「取り組みのデータベース」に登録された今年度の分析結果、母子保健・医療情報データベースの運営、利用状況を把握し分析した。

#### B-1. ホームページの運営状況の把握

ホームページ管理担当者が更新の機会毎に、ホームページ内の更新履歴のページに日付、及び内容を記録している。これらの記録により、ホームページの運営状況について把握した。

#### B-2. 掲載する情報収集の方法

厚生労働省、文部科学省、内閣府など省庁から出される情報のほか、報道などで社会的に話題になった情報などについても積極的にリサーチした。

- ① 「健やか親子21」の掲げる各課題に関連する情報を、省庁の中から重点的に収集した。厚生労働省、文部科学省、内閣府は常時、必ず情報確認を行い、かつ必要に応じて、経済産業省（ライターによる子どもの火遊び対策など）、国土交通省（鉄道でのベビーカー利用時の注意喚起、チャイルドシート着用啓発など）の情報も確認した。
- ② 特に、子どもの事故については、人命に関わるため、厚生労働省からの情報以外に、国民生活センターや消費者庁から発表される製品のリコールなどからも最新の情報収集を心がけ、迅速に掲載した。
- ③ 新型インフルエンザの流行が懸念された時期や、東日本大震災後などには、適切な情報が混乱なく伝わるよう、臨時の更新をするなどして情報提供に努めた。
- ④ いじめによる自殺予防や、妊婦の風疹予防、

給食のアレルギー対策など、社会的な問題として世間の関心が高く、ただちに啓発が求められる事項には、積極的に情報掲載を進めた。

- ⑤ 推進協議会参加団体の動向にも着目し、各課題に関連する情報が掲載された場合は、健やか親子21のホームページでも紹介を行った。またシンポジウムや研修会などの情報も積極的に収集した。

### B-3. 取り組みのデータベースに登録された内容についてのまとめ

全国自治体から提供された、取組事業について事業掲載数を、都道府県別、母子保健国民運動計画課題別に把握した。

### B-4. 母子保健・医療情報データベースの運営、利用状況

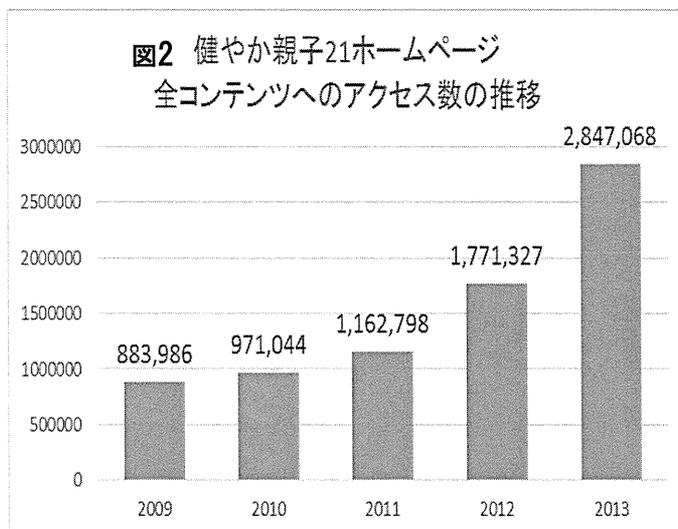
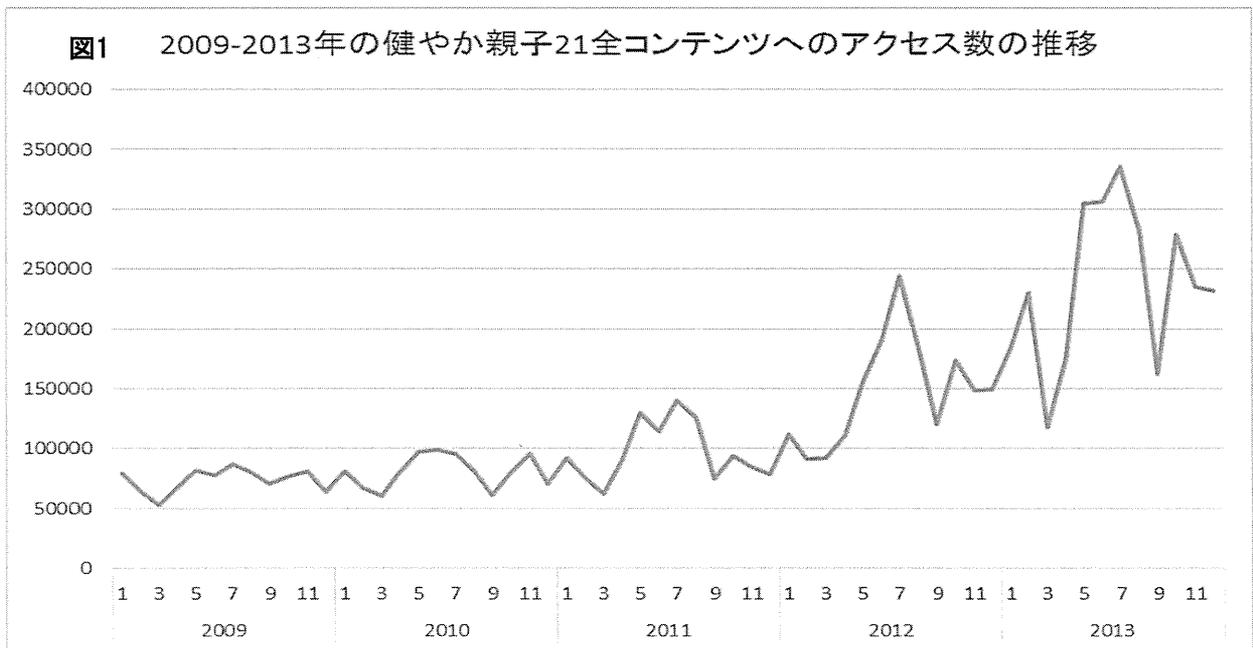
母子保健・医療情報データベースは、WEB公開

された2001年4月以降、現在まで13年間にわたって運営されてきた。その内訳について把握し、データベースの利用状況は、把握する一つの指標として、アクセス件数を用いた。

## C. 結果及び考察

### C-1. 健やか親子21ホームページの運営状況

更新は原則として、週1回以上行った。「健やか親子21」に関連する情報として更新し、リアルタイムな情報提供ができ、アクセス件数に反映したと考える。今回は、健やか親子21ホームページの全コンテンツへのアクセス件数の近年5年間分をグラフ化した（ただし画像ファイルへのアクセス件数は反映しない）ものを、図1・2に示す。これを見ると、毎年明らかにアクセス件数が増えていることがわかる。本ホームページの更新にあたっては、次のC-2、C-3に基づき行ったものである。



## C-2. 健やか親子21公式ホームページ更新内容の内訳 (2013.4.7~2014.2.9)

2013年4月7日から2014年2月9日まで、ほぼ毎週1回の更新を行い、304件の情報提供を行った。2013年度の特徴としては、安全な学校対策、妊婦への風疹予防啓発、感染症対策の話題が、他の年に比べて多く目立った。

B-2に示した方法により、具体的には以下のトピックスについて情報提供を行った。掲載した情報を課題別に分類した結果は次の通りである(日付は掲載日)。

### 【課題1】 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 (更新総数95件)

<内訳>

薬物乱用…9件、自殺・いじめ対策…11件、思春期…4件、学校保健…20件、早寝早起き…3件、体力向上…6件、学校における食育…4件、アレルギー対策…10件、スクールカウンセラー…2件、障害のある児童生徒への対応…3件、安全な学校づくり…9件、その他…14件

### 【課題2】 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 (更新総数31件)

妊娠・出産…7件、妊婦への風疹予防啓発…4件、周産期医療・産婦人科医関連…11件、不妊対策…5件、タバコの害・禁煙対策…2件、その他…2件

### 【課題3】 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備 (更新総数81件)

小児保健、小児救急…10件、子どもの事故防止・安全対策…35件、SIDS…1件、予防接種…11件、感染症対策…7件、虫歯対策…6件、その他…11件

### 【課題4】 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 (更新総数85件)

児童虐待…17件、育児・子育て・育児支援…7件、父親の子育て、ワークライフバランス…10件、少子化対策、次世代育成支援…5件、母乳育児、赤ちゃんの栄養…8件、子どものこころ…6件、待機児童問題・保育所・認定こども園など…3件、食育…14件、家庭教育推進・支援…2件、食の安全…3件、その他…10件

## 【その他】 (更新総数12件)

健やか親子21関連…9件、推進協議会関連…3件

## C-3. 課題・内訳別 更新内容

C-2に示した課題と内訳別に分類した掲載情報を以下に示す。B-2で示しているように、健やか親子21の課題に関連する情報として、省庁や推進協議会参加団体のホームページなどから収集したもので、掲載先へリンクを行った。

### 【課題1】

<薬物乱用>

2013.6.23

薬物乱用防止『『ダメ。ゼッタイ。』普及運動リーフレット』(平成25年6月20日現在)

2013.6.23

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施について

2013.6.30

平成24年度「若年層向け薬物再乱用防止プログラム等に関する企画分析報告書」

2013.7.7

政府広報 ネット動画「徳光&木佐の知りたいニッポン!~脱法ハーブにダメされるな!~違法ドラッグの恐怖」

2013.8.4

平成25年度高等学校生徒及び高等専門学校学生による薬物乱用防止広報啓発映像及びポスターの作品募集について

2013.9.29

平成25年上半期の薬物・銃器情勢(暫定値)警察庁

2013.10.20

「薬物の乱用は、あなたとあなたの周りの社会をダメにします!」

(一般啓発用パンフレット)

2013.10.20

薬物乱用対策推進地方本部全国会議の資料(内閣府)

2014.1.5

新たに指定薬物2物質を麻薬に指定します(注意喚起)

<自殺・いじめ対策>

2013.5.26

早期に警察へ相談・通報すべきいじめ事案について（通知）文部科学省

2013. 6. 2  
運動部活動での指導のガイドラインについて（文部科学省）

2013. 6. 9  
児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議（平成24年度）  
第1回議事要旨/第2回議事要旨

2013. 7. 7  
いじめ防止対策推進法の公布について

2013. 8. 4  
「学校等における体罰問題に関するメッセージについて」（法務省）

2013. 8. 25  
体罰に係る実態把握（第2次報告）の結果について

2013. 8. 25  
体罰根絶に向けた取組の徹底について

2013. 9. 8  
平成25年度自殺予防週間（内閣府）

2013. 10. 20  
いじめ防止基本方針の策定について（通知）（文部科学省）

2013. 11. 17  
いじめ防止基本方針策定協議会

2014. 1. 19  
スポーツを行う者を暴力等から守るための第三者相談・調査制度の構築に関する実践調査研究協力者会議の報告について

<思春期>

2013. 8. 11  
日本産婦人科医会「学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアル」申込書

2013. 9. 22  
日本小児科医会 第13回思春期の臨床講習会（11/17、東京）

2013. 9. 29  
推進協議会（課題1幹事団体）主催、健やか親子21公開講座（12/26、東京）  
「思春期の危機をどう乗り越えるか」

2013. 12. 22  
中高生を中心とした子供の生活習慣づくりに関する検討委員会（文部科学省）について

<学校保健>

2013. 5. 12  
日本学校保健会 「わたしの健康手帳」平成25年度改訂版

2013. 5. 19  
学校において予防すべき感染症の解説（文部科学省）

2013. 5. 19  
小学校保健教育参考資料「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き（文部科学省）

2013. 5. 19  
学校における結核検診について（文部科学省）

2013. 6. 2  
今後の健康診断の在り方等に関する検討会「学校病」に関するワーキンググループ（第2回） 議事録

2013. 6. 23  
平成23年度調査結果 保健室利用状況に関する調査報告書

2013. 6. 30  
学校保健ポータルサイト「学校感染症第三種（その他の感染症）：皮膚の学校感染症とプールに関する統一見解」

2013. 6. 30  
学校安全Web 【教材カード6月号】「プールの事故に注意」を掲載

2013. 7. 14  
学校安全web 【教材カード7月号】「熱中症に注意しよう」を掲載

2013. 7. 14  
STOP熱中症 教えて！「かくれ脱水」委員会

2013. 7. 14  
熱中症環境保健マニュアル（2011年5月改訂版）

2013. 8. 11  
日本スポーツ振興センター「学校の管理下における体育活動中の事故の傾向と事故防止に関する調査研究」－体育活動における頭頸部外傷の傾向と事故防止の留意点－調査研究報告書

2013. 9. 22  
日本スポーツ振興センター「平成24年度学校安全・災害共済給付ガイド」

2013. 10. 6  
日本学校保健会 保健学習授業推進委員会  
平成25年度報告書「中学校の保健学習を着実に推進するために」
2013. 10. 6  
学校安全Web 【教材カード10月号】「授業中の事故（小学校理科編）」を掲載
2013. 11. 3  
学校安全Web 【教材カード11月号】「準備運動中の事故（中学生・高校生編）」を掲載
2013. 11. 17  
学校安全Web 【教材カード】CAUTION CARD（コーションカード）掲載
2013. 12. 8  
学校安全Web 【教材カード12月号】「正しい手洗いをしよう」を掲載
2014. 2. 2  
学校安全Web 「食中毒等の集団感染を防ぐために」
2014. 2. 9  
学校安全Web 【教材カード2月号】「こんなときけがするよ（バスケットボール編）」  
<早寝・早起き>
2013. 5. 12  
平成25年度「早寝早起き朝ごはん」フォーラム募集のご案内
2013. 11. 17  
平成26年度「早寝早起き朝ごはん」都道府県フォーラム募集についてのご案内
2014. 2. 2  
早ね早おき朝ごはん運動 平成26年度「土曜朝塾支援事業」募集についてのご案内  
<体力向上>
2013. 4. 21  
平成24年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
2013. 8. 25  
「体力・スポーツに関する世論調査」の結果について
2013. 9. 1  
平成25年度学校基本調査速報の公表について
2013. 10. 13  
平成24年度学校体育振興事業研究報告集
2013. 10. 20  
平成24年度体力・運動能力調査結果について
2014. 1. 5  
平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果  
<学校における食育>
2013. 6. 2  
「今後の学校における食育の在り方に関する有識者会議」設置要項（文部科学省）
2013. 7. 20  
今後の学校における食育の在り方に関する有識者会議（第1回）配付資料
2013. 8. 4  
今後の学校における食育の在り方に関する有識者会議中間まとめについて
2014. 1. 19  
第2次食育推進基本計画における学校給食関係の目標値の一部改定等について  
<学校給食の安全対策、アレルギー対応>
2013. 4. 7  
新年度の学校給食における食物アレルギー等を有する児童生徒等への対応等について
2013. 6. 9  
学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議（第1回）配付資料
2013. 7. 7  
学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議（第1回）議事録
2013. 7. 20  
学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議（第2回）配付資料
2013. 7. 20  
学校給食における窒息事故の防止について
2013. 8. 4  
学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議中間まとめについて
2013. 9. 8  
学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議（第3回）配付

- 資料
2013. 10. 20  
学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議（第5回）配付資料
2013. 11. 10  
学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議（第3回）議事録
2014. 1. 26  
平成24年度学校給食実施状況等調査の結果について（文部科学省）  
<スクールカウンセラー>
2013. 7. 14  
平成25年度 緊急スクールカウンセラー等派遣事業公募要領（SC）
2013. 12. 15  
スクールカウンセラー等活用事業実施要  
<障害のある児童生徒への対応>
2013. 5. 19  
平成24年度特別支援教育に関する調査の結果について
2013. 9. 1  
「障害のある児童生徒の教材の充実について報告」について（文部科学省）
2013. 10. 20  
障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について（文部科学省通知）  
<安全な学校づくり>
2013. 5. 19  
「学校施設における天井等落下防止対策のための講習会」の開催について
2013. 6. 16  
学校施設の防災力強化プロジェクト（文部科学省）
2013. 6. 23  
文部科学省委託事業に係る「天井等落下防止対策アドバイザー」について
2013. 6. 30  
「学校施設における天井等落下防止対策のための講習会」（第1回）配付資料
2013. 7. 20  
災害に強い学校施設づくり検討部会（第1回）議事要旨
2013. 7. 20  
「公立学校の屋内運動場等の天井等落下防止対策加速化のための先導的開発事業」の選定結果について
2013. 9. 1  
「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」の策定について
2013. 9. 8  
2013文教施設セミナー「安全・安心な学校づくりセミナー」（東京、大阪）
2014. 1. 19  
竜巻に対する学校の安全のために
2014. 2. 9  
愛育ねっと～子どもの安全をめぐって～  
「学校安全の推進に関する計画」とは？  
<その他>
2013. 5. 26  
日本学校保健会 夏季セミナー「未成年飲酒予防研修会」  
～学校に求められる未成年飲酒防止教育・実態とその背景～
2013. 9. 1  
平成24年度 文部科学白書
2013. 9. 8  
平成25年度「体験の風をおこそうフォーラム」（10/12、東京）
2013. 10. 6  
平成25年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）実施状況（5月1日現在）
2013. 10. 27  
11月は子ども・若者育成支援強調月間（内閣府）
2013. 11. 3  
内閣府 児童ポルノ排除対策公開シンポジウム（11/28、東京）
2013. 11. 24  
子ども・若者育成支援推進点検・評価会議（第三回）の資料掲載（内閣府）
2013. 12. 15  
平成24年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果について
2013. 12. 22  
学校基本調査－平成25年度（確定値）結果の概要－（文部科学省）
2014. 1. 5  
社会保障審議会児童部会放課後児童クラ

- ブの基準に関する専門委員会報告書  
2014. 1. 12  
子ども・若者育成支援推進点検・評価会議について
2014. 1. 19  
平成24年度「学校運営の改善の在り方に関する取組」成果報告書
2014. 2. 2  
「青少年の体験活動推進企業表彰」の受賞企業及びみんなで体験活動ワールド」(表彰式) について
2014. 2. 9  
内閣府：お子様が安全に安心してインターネットを利用するために保護者ができること
- 【課題2】**  
＜妊娠・出産＞
2013. 4. 7  
女性にやさしい職場づくりナビ「企業の担当として…、働く女性として…いつ、何をすればいい？～妊娠スケジュールに沿って～」
2013. 4. 14  
出産は必ず産科医療専門職の元で（日本助産師会）
2013. 5. 1  
日本歯科医師会 8020日歯TV「母子健康手帳～歯医者さんが教える！母子手帳活用術～」
2013. 5. 1  
日本周産期・新生児医学会「ライフプランを考えてみましょう～妊娠・出産には適した年齢があります～」
2013. 9. 15  
マタニティマークに関する取組の状況調査の結果
2013. 12. 8  
日本産婦人科医会 先天異常部会 サイトメガロウイルスと母子感染
2013. 12. 8  
日本産婦人科医会 先天異常部会 トキソプラズマと母子感染
- ＜風疹予防啓発＞
2013. 4. 21  
風しん予防啓発ポスター“産まれてくる赤ちゃんのために「風しんワクチン」
2014. 1. 19  
国立感染症研究所 先天性風しん症候群（CRS）の報告（2013年12月18日現在）
2014. 1. 19  
日本周産期・新生児医学会 先天性風疹症候群（CRS）診療マニュアル
2014. 2. 2  
日本産婦人科学会 「2020年オリンピック年（平成32年）までの風しんの排除」決定のお知らせ及び挙児希望カップルに対する「不妊治療開始前の風しん抗体価検査」について
- ＜周産期医療、産婦人科医関連＞
2013. 5. 1  
「専門医の在り方に関する検討会報告書」について（厚生労働省）
2013. 5. 12  
第3回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書～産科医療の質の向上に向けて～公益財団法人日本医療機能評価機構 産科医療補償制度 再発防止委員会
2013. 6. 23  
日本助産師会 「助産業務ガイドライン」（仮称）改訂に関するフォーラム
2013. 9. 22  
日本産科婦人科学会 「第6回産婦人科動向意識調査」2013年8月調査
2013. 9. 22  
日本医療機能評価機構 産科医療補償制度補償対象となった参考事例
2013. 10. 27  
地域の医師確保等の観点からの平成26年度医学部入学定員の増加について（通知）
2013. 12. 15  
日本産婦人科医会 産婦人科危機再び!? ～産婦人科の動向と勤務医就労環境 調査結果冊子
2013. 12. 22  
平成24年（2012）医師・歯科医師・薬剤師調査の概況
2014. 1. 5  
医療施設動態調査（平成25年10月末概数）
2014. 1. 12

- 日本産婦人科医会 偶発事例報告（平成24年）／妊産婦死亡報告事業
2014. 2. 2  
日本産婦人科学会 今季インフルエンザに関して、妊娠している女性へのお知らせ  
＜妊産婦の健康＞
2013. 4. 21  
日本産婦人科学会 「妊娠している、あるいは授乳中の婦人に対しての?鳥インフルエンザ（H7N9）感染に対する対応Q&A」
2013. 5. 26  
日本産科婦人科学会「赤ちゃんとお母さんの感染予防対策5ヶ条」
2013. 6. 2  
「妊娠中に風疹含有ワクチン（麻しん風しん混合ワクチン、風しんワクチン）を誤って接種した場合の対応について」日本周産期・新生児医学会
2013. 6. 9  
マタニティマークについて
2013. 6. 16  
日本産婦人科医会風疹と母子感染 2012年版～2012年の風疹再流行にあたって～
2013. 6. 23  
日本看護協会 助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備
2013. 6. 30  
日本産婦人科学会 風疹に関して、心配しておられる女性のためのQ&A
2013. 9. 29  
日本産婦人科医会 大阪府未受診妊娠調査報告～4年間の成果と今後の課題～
2013. 11. 3  
日本助産学会 研修・教育委員会主催セミナー「妊婦の生活と胎内環境ーエコチル調査の目指すものー」
2013. 11. 17  
妊娠・出産をサポートする女性にやさしい職場づくりナビ 専門家コラム「マタニティハラスメントについて」  
＜不妊対策＞
2013. 4. 14  
NPO法人fine 不妊治療の経済的負担に関するアンケートPart2
2013. 5. 12  
第1回 不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会
2013. 8. 25  
「不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会」報告書について
2014. 1. 5  
不妊専門相談センターの取組事例集
2014. 1. 5  
平成25年度「不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会」報告書について  
＜タバコの害、禁煙対策＞
2013. 5. 26  
2013年「世界禁煙デー記念イベント」を5月31日に開催
2013. 11. 3  
受動喫煙防止対策に関する各種支援事業（厚生労働省）  
＜その他＞
2013. 6. 9  
日本家族計画協会「第6回男女の生活と意識に関する調査」報告書 PDF版
2013. 11. 17  
日本産婦人科医会 第70回記者懇談会資料「新たな遺伝子診療時代を迎えてー日本産婦人科医会の対応についてー」
- 【課題3】  
＜小児保健、小児救急＞
2013. 4. 7  
病気療養児に対する教育の充実について（通知）（文部科学省）
2013. 4. 14  
小児救急医療電話相談事業（#8000）について
2013. 4. 21  
「乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会」開催のお知らせ
2013. 6. 23  
日本産婦人科医会 未来に向けて、福島で産み育てるー福島産婦人科医療の現状と課題
2013. 7. 20  
第6回 救急医療体制等のあり方に関する

- 検討会（資料）
2013. 8. 25  
平成25年度「救急の日」及び「救急医療週間」について
2013. 12. 15  
日本小児科学会と日本集中治療医学会主催  
小児敗血症セミナー（2/2、東京）
2013. 12. 22  
慢性疾患を抱える子どもとその家族への支援の在り方（報告）
2013. 12. 22  
平成25年版 救急・救助の現況（消防庁）
2014. 2. 9  
日本産婦人科医会HP掲載：日本整形外科学会・日本小児整形外科学会パンフ  
「赤ちゃんが股関節脱臼にならないよう注意しましょう」  
＜子どもの事故防止、安全対策＞
2013. 4. 7  
乳幼児の歯ブラシによる事故に注意！（消費者庁）
2013. 4. 7  
東京暮らしWeb 自転車のチェーンにズボンの裾が絡んで転倒
2013. 4. 21  
国民生活センター 乗用車のアームレスト取り付け部品のすき間に幼児が中指を挟み指先を大げが
2013. 5. 1  
リコール情報「ベビーカー」「乳児用押し車」（消費者庁）
2013. 5. 1  
首から下げるタイプの除菌用品の安全性ー皮膚への刺激性を中心にー（国民生活センター）
2013. 5. 1  
特にフォローすべきリコール製品（31製品）（消費者庁）
2013. 5. 12  
平成24年度自動車アセスメント・チャイルドシートアセスメント結果（国土交通省）
2013. 5. 19  
乳幼児がベッドから転落する事故が発生しています【注意喚起】日本医師会
2013. 5. 26  
日本助産師会 ベビーベッド転落事故注意喚起周知協力のお願ひ
2013. 6. 9  
国民生活センター 気をつけて！歯みがき中の事故！
2013. 6. 9  
国民生活センター 商業施設内の屋内遊戯施設における子どもの事故
2013. 6. 16  
JAF調査：チャイルドシートの使用率は60.2% 合同調査開始後、初の6割台
2013. 6. 16  
ジャンプ式の折りたたみ傘及び乳幼児用のいすの事故に気をつけて！ー新たに「取扱い上の注意」の表示が義務付けられましたー（消費者庁）
2013. 6. 30  
国土交通省・自動車事故対策機構 平成24年度自動車アセスメント・チャイルドシートアセスメント結果
2013. 7. 7  
小学生（低学年）向け消費者教育副教材「みんなで危険を安全に」（消費者庁）
2013. 7. 7  
国民生活センター 屋内遊戯施設での事故に注意！
2013. 7. 14  
東京都・機械式立体駐車場の安全な使用に関する調査
2013. 7. 14  
東京暮らし安全web 「ブラインドやカーテンのひもに気をつけて！」
2013. 7. 27  
愛育ねっと 子どもの事故子どもの安全をめぐってー「学校安全の推進に関する計画」とは？ 衛藤隆（社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所所長）
2013. 7. 27  
第7回キッズデザイン賞211点が決定！
2013. 7. 27  
日本小児科学会 Injury Alert No. 38 キックスクーターによる顔面外傷
2013. 7. 27  
日本小児科学会 Injury Alert No. 39 ス

- トロー付きコップによる口蓋の刺創  
2013. 7. 27  
日本小児科学会 Injury Alert No. 40 ウイルス除去と称されている製品による中毒
2013. 7. 27  
やめて!子供の車内放置 (全日本遊技事業協同組合連合会)
2013. 8. 4  
製品評価技術基盤機構 (NITE) 「製品安全教育DVDハンドブック (中学生以上対象)」
2013. 9. 8  
防犯ブザーの電池切れや故障に注意!  
—いざという時のために家庭で点検を—  
(国民生活センター)
2013. 10. 27  
消費者安全調査委員会 平成23年7月11日に神奈川県内の幼稚園で発生したプール事故に係る事故等原因調査について
2013. 10. 27  
ブラインドやカーテンのひもに気をつけて!～今後、安全対策の検討に着手します～  
～東京都商品等安全対策協議会
2013. 11. 10  
国民生活センター 吸いづらいストロー付きの乳幼児用カップ (相談解決のためのテスト)
2013. 11. 10  
全国保育協議会 「東日本大震災被災保育所の対応に学ぶ～子どもたちを災害から守るための対応事例集～」
2013. 11. 24  
STOP! 子どものやけど (東京消防庁)
2013. 12. 15  
日本小児科学会 Injury Alert (傷害速報) 「No. 42 ヘアアイロンによる口腔内電撃症 (熱傷)」と 「No. 43 自動車内への閉じ込めによる傷害 (1) 及び (2)」 を掲載
2013. 12. 15  
厚生労働省 報道発表資料 保育施設における死亡事故の追加公表をします～平成16年4月から24年12月末までの31件を追加報告～
2014. 1. 19  
国民生活センター コンビ「ベビーカー
- 【部品交換】 (回収・無償修理等の情報)
2014. 2. 9  
子ども用の花粉防御用眼鏡の安全性 (再注意喚起) —衝突や転倒などによる目の周辺のけがを防ぐために— (国民生活センター)
- <SIDS>
2013. 11. 3  
11月は、SIDS対策月間です  
<予防接種>
2013. 4. 14  
日本脳炎ワクチン接種に係るQ&A
2013. 4. 14  
日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール
2013. 7. 14  
平成24年度麻しん風しん予防接種 (第1期～第4期) 実施状況 (2013年3月31日現在)
2013. 8. 11  
国立感染症研究所 日本の小児における予防接種スケジュール
2013. 7. 7  
平成24年度第7回医薬品等安全対策部会安全対策調査会、第3回子宮頸がん等ワクチン、第2回インフルエンザワクチン、第2回不活化ポリオワクチン、第1回日本脳炎ワクチン予防接種後副反応検討会議事録
2013. 9. 8  
第1回日本小児科医会 「子どもの海外渡航」 研修会 (12/15、東京)
2013. 9. 15  
小児肺炎球菌ワクチンの切替えに関するQ&A
2013. 11. 10  
日本の小児における予防接種スケジュール (国立感染症研究所)
2013. 11. 24  
日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール、日本小児科学会推奨の予防接種キャッチアップスケジュールを改訂しました
2014. 1. 26  
日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール、日本小児科学会推奨の予防接種キャッチアップスケジュールを改訂しまし

- た
2014. 2. 9  
麻しん風しん予防接種の実施状況  
<感染症策>
2013. 6. 2  
ノロウイルスに関するQ&A / PDF版  
2013. 9. 22 日本小児科学会 予防接種・  
感染対策委員会「学校、幼稚園、保育所に  
おいて予防すべき感染症の解説」改訂版
2013. 11. 10  
<速報>2013/14シーズン初めの小学校を  
中心としたB型インフルエンザの発生事例  
—和歌山県（国立感染症研究所）
2013. 12. 8  
日本医師会 インフルエンザ対策情報
2014. 1. 12  
平成25年度 今冬のインフルエンザ総合対  
策について
2014. 1. 26  
日本医師会 手洗いを習慣に—感染性胃腸  
炎—【健康ぷらざ No. 404】
2014. 2. 2  
日本小児科学会 2013/2014シーズンのイ  
ンフルエンザ治療方針
- <虫歯対策>
2013. 4. 14  
日本小児歯科学会「楽しく安全に歯みがき  
をする習慣を身につけよう」リーフレット
2013. 6. 2  
日本小児歯科学会「楽しく安全に歯みが  
きをする習慣を身につけよう」リーフ  
レット
2013. 6. 2  
約50年ぶりに名称変更「歯の衛生週間」  
から「歯と口の健康週間」へ
2013. 7. 14  
日本歯科医師会 8020日歯TVに「母子手帳  
で守る！赤ちゃんのお口と歯の健康」を掲  
載しました
2013. 10. 6  
日本小児歯科学会：学会からの提言「これ  
からの小児歯科保健のあり方について」を  
更新
2013. 11. 17  
東京小児科医会・日本小児歯科学会関東地  
方会主催「じょうぶな歯とじょうぶな体」  
セミナー むし歯にしないひと工夫、げん  
きに育てる食事の工夫
- <その他>
2013. 6. 16  
食物アレルギーサインプレートなどを配布  
～ALサインプロジェクト
2013. 7. 7  
平成24年 国民生活基礎調査の概況
2013. 7. 20  
平成25年度保健師中央会議「保健師の活動  
を推進させる方策について考える～保 健  
師に求められる役割、活動の展望～」
2013. 8. 11  
小児への放射線被ばくの健康影響について  
追加資料（日本小児科学会放射線被ばく  
ワーキンググループ
2013. 9. 22  
赤ちゃん&子育てインフォ「新生児聴覚ス  
クリーニング」をご存じですか
2013. 10. 13  
平成25年度 保健師活動領域調査（領域調  
査）の結果について
2013. 11. 3  
環境省 子どもの健康と環境に関する全国  
調査（エコチル調査）「エコチル調査国際  
シンポジウム in 名古屋」の開催について  
（お知らせ）
2013. 12. 8  
厚生労働省広報啓発DVD（赤ちゃんが泣き  
やまない～泣きへの対処と理解のために  
～）
2013. 12. 1  
乳幼児揺さぶられ症候群の予防と赤ちゃん  
の“泣き”への対処法の動画『赤ちゃんが  
泣きやまない』をホームページに掲載しま  
した
2013. 12. 22  
平成24年「国民健康・栄養調査」の結果
2014. 1. 5  
平成25年度民生委員・児童委員の一斉改選  
結果について
- 【課題4】  
<児童虐待>